

平成29年度(平成28年度対象)

# 教育委員会の点検・評価報告書

平成29年9月

養父市教育委員会

## 目 次

はじめに	P 2～3
教育委員会の点検・評価について	P 4～6
1 趣旨	
2 対象	
3 点検・評価の方法	
4 学識経験者の活用	
養父市教育委員会の平成 29 年度（平成 28 年度対象）点検・評価について （総括意見）	P 7～ 9
平成 29 年度（平成 28 年度対象）養父市教育委員会評価調書	P 10～25
① 教育課題の把握と提言を行い、教育行政を推進する	
② 教育施設整備の充実を推進し、教育環境を整える	
③ 自立して物事に挑戦する態度を育成する	
④ 「生きる力」を育む教育を推進する	
⑤ 子どもたちの学びを支える仕組みを確立する	
⑥ 教職員としての専門性と実践的指導力の向上に努める	
⑦ 発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育の充実を図る	
⑧ 多様な遊び・体験を通じて自立と共同の態度を培い「生きる力」の基礎 を育む	
⑨ 子どもを安心して育てられる環境づくりを進める	
⑩ 教育・保育施設の機能を充実させ、子育て支援を進める	
⑪ 家庭・地域・学校が連携して、豊かな心を育む青少年の健全育成を進める	
⑫ ふるさとの文化財を継承し、その保存と活用を進める	
⑬ 「元気な養父市～ひとり 1 スポーツで健康づくり～」を進める	

## はじめに

養父市では、第2次総合計画の施策などに基づき「平成28年度 教育推進の重点」において、幼児教育4項目、学校教育4項目、社会教育3項目の重点目標を掲げ、保護者や地域の方々のご理解とご支援をいただきながら、「明日を拓くこころ豊かな人づくり」の諸施策を推進しました。

幼児教育では、幼保一元化による質の高い保育・教育の提供に取り組みました。幼児一人一人の発達の特徴を理解し、基本的な生活習慣の確立に努め、家庭や地域と連携して多様な遊びや体験活動、こども園同士の交流会や異年齢交流を図り、豊かな感性と表現力、人とかかわる力の基礎を育む取組を推進しました。さらに運動遊びによる基礎体力の育成に努めました。子育て支援では、一時預かり保育、延長保育、巡回相談の充実を図り、保護者からの相談や子育て情報の発信、ボランティア活動による支援を行い、子育て支援体制の充実を図りました。また、教職員の実践的指導力を高めるための専門研修会を実施しました。

学校教育では、養父市に誇りを持ち、ふるさとを語れる子供たちの育成を目指すふるさと教育に取り組みました。「やぶっ子夢プラン」、「自然学校」、「トライやる・ウィーク」などの体験活動を充実し、養父市の自然や人々との関わりを通じてふるさと意識の醸成に努めました。また、「そうあん君くんの日」、「スマートフォン使用のルールづくり」などに取り組み、自立して物事に挑戦する態度の育成を図りました。さらに、義務教育課程9年間の系統性や連続性を強化するため、先行モデル校を選定し小中一貫教育調査の研究を進めました。支援の必要な子どもに対しては多様な教育ニーズに対応した支援を行うとともに、いじめや体罰問題についても、一人一人の子どもの内面理解に努め、命と人権を大切にする「心の教育」を推進しました。

食育では、「やっぷーメニュー」等の取組により食育に対する理解を深めながら、安全・安心な給食の提供に努めました。

学校施設環境整備では、より良い教育環境づくりのため、各小中学校の修繕工事を実施しました。また、学校におけるICT環境の充実にも努めました。

社会教育では、市民が生きがいを持って生涯学習を推進するため、さまざまな学びの機会を提供し、市民の自発的な学習活動を支援しました。また、養父市らしい歴史と文化に根ざしたまちづくりを推進するため、伝統的建造物群保存地区調査などを実施するとともに、名草神社本殿、拝殿などの国・県指定文化財の保存・修復に努めました。

生涯スポーツでは、スポーツ団体と連携して各種スポーツイベントを開催すると

ともに「ラジオ体操」「ノルディック・ウォーキング」「体力測定会」の普及を図るなど、市民が生涯にわたりそれぞれのライフステージに応じて気軽にスポーツに親しむことができる環境づくりに努めました。

このたび、取りまとめた「平成29年度養父市教育委員会の点検・評価」は、平成28年度中に養父市教育委員会が取り組んだ主な施策・事業について、点検・評価を行ったものです。この点検・評価の実施と公表により、広く市民の皆様には教育委員会の活動状況や教育施策の実施状況をお知らせするとともに、「生きる力を生涯学ぶまち」の実現に向け、より効果的な教育行政の推進に努める所存です。

養父市教育委員会

## 教育委員会の点検・評価について

養父市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民への説明責任を果たすため、平成28年度事務事業の点検及び評価を実施し、その結果を報告書にまとめ、議会に提出するとともに、これを公表するものです。

### ※参考

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）（平成19年6月一部改正公布、平成20年4月施行）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 1 趣旨

教育委員会が、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、課題や対応方法を明らかにすることにより、効果的な教育行政の推進に資するものです。

点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することにより、市民への説明責任を果たしていきます。

### 2 対象

点検・評価は、養父市教育委員会の「平成28年度教育推進の重点」の重点課題である教育総務2項目、学校教育4項目、幼児教育4項目、学校教育5項目、社会教育4項目及び教育委員会の活動状況、学校教育環境整備について（下記の14項目）対象といたしました。

（教育総務）

- (1) 教育課題の把握と提言を行い、教育行政を推進する
- (2) 施設整備の充実を推進し、教育環境を整える

(学校教育)

- (1) 自立して物事に挑戦する態度を育成する
- (2) 「生きる力」を育む教育を推進する
- (3) 子どもたちの学びを支える仕組みを確立する
- (4) 教職員としての専門性と実践的指導力の向上に努める

(幼児教育)

- (1) 発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育の充実を図る
- (2) 多様な遊び・体験を通して自立と協同の態度を培い「生きる力」の基礎を育む
- (3) 子どもを安心して育てられる環境づくりを進める
- (4) 教育・保育施設の機能を充実させ、子育て支援を進める

(社会教育)

- (1) 家庭・地域・学校が連携して、心豊かな心を育む青少年の健全育成を進める
- (2) ふるさとの文化財を継承し、その保存と活用を進める
- (3) 「元氣な養父市～ひとり1スポーツで健康づくり～」を進める

3 点検・評価の方法

① 評価項目

上記の重点課題ごとの具体的な方策について評価項目にしています。

② 取組内容

項目ごとに実施した主な取組み内容を示しています。

③ 達成状況

A 目標が達成できた B 目標が概ね達成できた

C 目標が余り達成できなかった D 目標が達成できなかった の4段階で評価しています。

④ 担当課評価・改善の方策

担当課の評価・改善方策を示しています。

⑤ 自己点検・評価委員会評価

自己点検・評価委員会で行った事務事業の点検・評価、達成状況の評価を示しています。

⑥ 外部評価委員会評価

外部評価委員会で行った検証・評価の意見及び達成状況の評価を示しています。

#### 4 学識経験者の活用

点検及び評価を行うにあたっては、教育に関する学識経験を有する者の知見の活用を図ることにより、客観性を確保するものであり、養父市教育委員会評価実施要綱に基づき、5名の委員の方々から様々なご意見とご指導をいただきました。

##### ① 養父市教育委員会外部評価委員会委員

役職名	氏名
委員長	矢野尾清佑
副委員長	和田祐之
委員	前田日出子
委員	相地宏樹
委員	佐谷真理

##### ② 養父市教育委員会外部評価委員会開催日

- ・ 第1回 平成29年8月31日
- ・ 第2回 平成29年9月12日
- ・ 第3回 平成29年9月21日

## 養父市教育委員会の平成 29 年度（平成 28 年度対象）点検・評価について

### 総括

今期は、再任の委員 1 名、新任の委員 4 名の構成により審議を行いました。

限られた時間ではありましたが、再任の委員 1 名が残ることで、これまでの経過や評価の視点、昨年各分野の課題などについて聞き取りしながら審議するとともに、新任委員の新鮮な視点や感覚で意見を出し合うことができました。

昨年同様の提案や指摘もありますが、教育行政や学校における教育活動などについての議論を深めるためにも、今少し時間的なゆとりをもったスケジュールが必要と思われる。

しかしながら、評価項目の設定や事業説明の整理が行われており、市民目線で評価しやすい評価調書でした。評価項目や評点のあり方については、今後も継続して、年度ごとの特色ある事業を明確にするなど内容を検討していく必要があると思います。

### I 教育総務課の分野について

- ・各学校の施設修繕及び整備については、適切に行われていると感じました。限られた予算の中で大変なところはあるかと思いますが、引き続き、子どもたちの安心安全に配慮し、情報化やトイレの洋式化など、短期・長期にわたって計画的な整備計画により対応して欲しいと思います。
- ・奨学金制度は、若者が帰って来る手立てとしては効果的と考えますが、永続的な制度として今後も十分な検討・改善を続けるべきと思います。

### II 学校教育課の分野について

- ・地域での農業体験学習などを取り入れるなど、ふるさと教育の推進に有効な取り組みがされていると思います。また、学校教育の中でも、地域との連携や協力が必要と考えますので、地域自治組織等とのつながりを持ちながら進めていくことが大切であると思います。そのことで、地域全体で子どもを育てていくということの意識付けも生まれてくると思います。

また、子どもたちには、地域活動への参加を呼びかけて小・中学校での参加は増えていますが、高校生との連携などの取り組みについても今後推進していく必要があると考えます。

- ・小中一貫教育の取り組みについては、今年で 3 年目を迎えます。先生方の意識



の高まりや、小・中学校間の連携が深まるなど、良い方向に進んでいると思いますが、市民への周知・啓発の積極的な発信が弱いように感じました。また、何よりも児童・生徒が、なぜ小・中一貫教育になるのかということを理解することも大切であると思います。そのことで、児童・生徒自身が感じることも良い効果をもたらすものと考えます。

### Ⅲ こども育成課の分野について

- ・乳幼児の成長に配慮しながら、保育料の軽減や「そだれん」研修、保護者のストレス解消など様々な場面でのサービスがきめ細かに進められていると思います。「子育てしたいまち」が実感できる、将来を見据えた取り組みになるよう期待しています。
- ・学童保育の時間拡大など保護者ニーズの多様化に伴う個別対応に、懸命に取り組まれていることを知ることが出来ました。
- ・また、こども園の先生方の子どもに対する思いも聞かせていただき、保護者と保育者、事務局との密な連携を感じる事が出来ました。
- ・保育士不足の状況を踏まえ、非正規職場の待遇改善について、今後も検討をお願いします。

### Ⅳ 社会教育の分野について

- ・社会教育では、子どもたちの健全育成に役立つ事業を望みますが、市全体で行うには、小規模校では事業展開が成り立たない状況も生まれてきます。昨年も意見がありましたが、公民館事業と社会教育の事業との整理が必要な事業の改善をすべきと考えます。

文化財保護では、地域の過疎化・高齢化などにより、伝統芸能などの保存保護がしにくい状況が生まれています。地域自治組織等の中で、問題意識を持ち、地域の宝という機運を高めることが必要であり、地域と連携した取り組みがさらに必要であると考えます。

### Ⅴ 生涯スポーツセンターについて

- ・地域自治組織等や健康課との連携により幅広い年齢層や参加者に配慮した取り組みがなされていると感じました。個人のニーズに対応した健康スポーツ指導相談などについての取り組みがさらに充実されればと思います。

マラソンなどスポーツ行事の日程固定化や、ラジオ体操のケーブルテレビでの発信など、細かなことですがより事業に参加しやすい方法を引き続き考えて

いく必要があります。

## VI 給食センターについて

- ・職員数が減ってくる中で、地産地消、給食費の問題、アレルギーなどへの対応が大変な状況であろうと際します。きめ細かな業務が求められることと思いますが、子どもたちの健やかな成長を願い、安心安全な給食の提供をよろしくお願ひいたします。
- ・但馬農高と連携した給食メニューの提供や給食甲子園など、食育の推進において有意義な取り組みだと思ひます。

(おわりに)

今回、貴重な機会をいただいたことを、委員一同心より感謝しております。

子どもの減少のみならず、市全体の人口減少は避けがたく、それに伴って全ての分野において事業の再編など今まで以上に創意工夫が求められてきます。

行政の様々な取り組みについての「見える化」の必要性が言われています。特に、こども園、小・中学校で行われている事業については、今後もケーブルテレビや広報紙、ホームページ、新聞などのメディアを使用し、市民に伝えていただくようお願いいたします。

また、小・中一貫教育は何のためにするのか、運動遊びは何に役立つのか、教育で実践されていることの成果目標をわかりやすくし、市民に「見える化」する工夫を考えてもらえたらと思ひます。

教育委員会の外部評価をはじめとして、事業や施策に市民の意見が反映されることで、本当に市民が求めているものに事業や施策の形が変わって来るものと信じています。

この度の貴重な経験を生かして、今後各委員も地域の一員として更に市政に興味関心を持ち積極的に見守りながら声を挙げていく姿勢をもたねばと思ひます。ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

養父市教育委員会外部評価委員会

# 平成29年度(平成28年度対象) 養父市教育委員会評価調査

1 本年度の教育推進の重点

## 教育総務

### 1 教育課題の把握と提言を行い、教育行政を推進する

推進の重点

- 1 本年度の推進の重点を具体化した事業
- 2 開かれた教育委員会
- 3 教育委員会としての活動

4 評価項目ごとの評価 (A)目標が達成できた (B)目標が概ね達成できた (C)目標が余り達成できなかった (D)目標が達成できなかった

評価項目	取組内容	達成状況	自己点検・評価委員会による評価	達成状況	外部評価委員会による評価	
1	<p>①定例会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回の定例会議を開催し提案された議案の審議を行い、例規の制定並びに規則等の改正や廃止について審議する。また教育行政の諸課題について意見交換を行う。</li> </ul>	B	<p>担当課評価・改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○例規の教育委員会を計12回、臨時教育委員会を1回開催し33件の議案審議を行った。会議前には事前協議する場を設けた。議案の円滑化を図った。また、関係例規の制定や改正について慎重に審議し、例規の整備と公布を行った。</li> <li>○活発な意見交換が行われ活性化している。</li> <li>●課題</li> <li>○円滑な審議を行うためには余裕のある議案資料の送付を心がける必要がある。</li> <li>○教育委員会の諸活動について、養父市ホームページを活用した情報提供を行った。また、市広報にも関連記事の掲載を行った。今年度から教育委員会だよりを年2回発行した。</li> <li>●課題</li> <li>○ホームページへの情報掲載が遅れた。速やかな情報提供が必要。</li> </ul>	B	<p>外部評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○委員会では活発な意見交換や提案が行われ活性化している。</li> <li>○今後円滑な審議、議事進行に工夫を凝らし、委員の意見交換の場の充実を図っていただきたい。</li> </ul>	B
2	<p>開かれた教育委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①市ホームページ、市広報の活用</li> <li>・市ホームページを活用して議事録等の公表を行う。また、市広報を利用して教育委員会関連行事や活動を紹介する。</li> <li>②教育委員会だよりの発行</li> <li>・教育委員会だよりを2回発行し、教育委員会の諸活動をPRする。</li> </ul>	C	<p>自己点検・評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教育委員会の諸活動について、新たな取組として「教育委員会だよりの発行」が実現できたが、ホームページへの掲載が必要である。</li> </ul>	C	<p>外部評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教育委員会の諸活動について、市広報に関連記事の掲載を行うと共に、「教育委員会だよりの発行」による情報発信を継続して行っていただきたい。今後は、スマートフォン対応やホームページの充実も検討していただきたい。</li> </ul>	C
3	<p>教育委員会としての活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①学校訪問の実施</li> <li>・小・中・中学校を訪問し、学校経営研究などで直接助言を行う。</li> <li>②教育行事への積極的な参加</li> <li>・市、学校、各種団体が主催する行事に積極的に参加し教育活動の状況を把握する。</li> <li>③各種研修会への参加</li> <li>・県教育委員会、但馬・県・近畿連合会の主催する研修会に積極的に参加する。</li> </ul>	B	<p>自己点検・評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校現場や社会教育関係団体等の行事に積極的に参加し、市教育行政、教育活動の現状把握に努め、各種研修会にも参加し委員としての見識を深めている。</li> <li>○市長の主宰する総合教育会議において積極的に意見交換が行われている。</li> </ul>	B	<p>外部評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校現場や社会教育関係団体等の行事に積極的に参加し、市教育行政、教育活動の現状把握に努め、各種研修会にも参加し委員としての見識を深められている。</li> <li>○市長の主宰する総合教育会議においても積極的に意見交換が行われている。</li> </ul>	B
4	<p>若者未来応援奨学金制度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①若者未来応援奨学金制度の運用と奨学生の決定</li> <li>・今年度からスタートした奨学金制度の運用に係る規則を定め、奨学生の決定を行い奨学金を貸与する。</li> </ul>	B	<p>自己点検・評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教育の支援と将来の若者定住を目的とした奨学金制度に多く応募があった。引き続きの奨学金制度の周知を図る。</li> </ul>	C	<p>外部評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本制度が継続され若者定住の成果が表れることを期待するが、今後も引き続き、十分な制度設計の審議が必要である。</li> </ul>	C

評価者の別  
 【担当課 自己評価】  
 【教育委員会 評価】  
 【外部評価委員会 評価】

○印  
 教育総務課

# 平成29年度(平成28年度対象) 養父市教育委員会評価調査書

## 1 本年の教育推進の重点

推進の重点	<b>教育総務</b> <b>2 教育施設整備の充実を推進し、教育環境を整える</b>
2 本年度の推進の重点を具体化した事業	
① 関宮小学校体育館防災機能強化工事	
② 小・中学校施設の維持管理等	
③ 小・中学校のパソコン等整備事業	

【担当課 自己評価】  
 【教育委員会 評価】  
 【外部評価委員会 評価】

評価者の別  
 印  
 教育総務課

## 3 自己評価結果 (A目標が達成できた B目標が概ね達成できた C目標が余り達成できなかった D目標が達成できなかった)

## 4 評価項目ごとの評価 (A目標が達成できた B目標が概ね達成できた C目標が余り達成できなかった D目標が達成できなかった)

評価項目	取組内容	達成状況	担当課評価・改善の方策
1 関宮小学校体育館防災機能強化事業	① 関宮小学校体育館防災機能強化工事 ・ 吊天井撤去、ウレタン吹付け、落下防止工事を実施 ・ 平成28年6月契約、着工 ・ 平成28年8月末に工事完了	B	○ 予定通り改修工事を完了した。
2 小・中学校施設の維持管理	① 主要な修繕工事の実施 ・ 八鹿小・養父小の立木伐採 ・ 養父小グラウンド修繕 ・ 建屋小排水路土砂撤去 ・ 大屋中学校電話機修繕、火災警報器修繕 ・ 特別支援教室修繕 ・ 養父小エアコン修繕、体育館漏水修繕、火災警報器修繕 ・ 八鹿青森中防球ネット修繕	B	○ 市内9小学校、4中学校の児童、生徒が安全で安心して学習できるよう学習環境整備が行われた。今年度からは建築年数も経過している校舎もあり、定期的な点検し、優先順位を定めて計画的な修繕が必要である。
3 小・中学校PC整備事業	① 小中学校のパソコン更新事業 ・ 市内2小学校(八鹿小学校、宿南小学校) 1 中学校(関宮中学校)のパソコン教室、校務用パソコンを更新を保留し、新たにICT整備計画を策定した。今年度はセンターサーバー並びに大型液晶テレビを整備する。	B	○ 国のICT整備計画目標の達成にむけたICT整備計画を再検討した。その結果、今年度から各小学校サーバーのサーバー化を図り、各小学校に大型液晶テレビを複数台配置した。○ 今年度も年度計画に沿って計画的に更新する必要がある。○ 整備計画の見直しは下半期にずれ込んだため、整備品の調達に年度末となった。上半期に調達すべく努力する必要がある。

自己点検・評価委員会による評価	達成状況	外部評価委員会による評価	達成状況
○ 夏休み期間中に工事を完了することができた。	B	○ 夏休み期間中に工事が完了している。全ての学校の防災強化事業として、機能強化に努めていただきたい。	B
○ 市内9小学校、4中学校の児童、生徒が安全で安心して学習できるよう学習環境整備が行われているが、施設の中には建築年数も経過している校舎もあり、定期的な点検し、学校現場の意見を聞き計画的な修繕が必要である。	B	○ 市内小、中学校施設の中には老朽化が進んでいる校舎もあり、施設の定期的な点検と計画的な修繕を行い、大切に学校施設を利用していただきたい。	B
○ 国のICT整備計画目標の達成にむけたICT整備計画を再検討し、今年度から各小学校サーバーのサーバー化を図り、各小学校に大型液晶テレビを複数台配置できた。今年度も年度計画に沿って計画的に整備をしていく必要がある。○ 整備品の調達ができるよう準備する必要がある。	B	○ 国のICT整備計画目標の達成に向け、市のICT整備計画を再検討した上で整備を進んでいる。今後も先を見通した整備を進めていただきたい。	B

平成29年度(平成28年度対象) 養父市教育委員会評価調査

○【担当課 自己評価】  
 ○【教育委員会 評価】  
 ○【外部評価委員会評価】

評価者の別  
 ○印 学校教育課

1. 本年年度の教育推進の重点  
 推進の重点 1 自立して物事に挑戦する態度を育成する  
 2 本年年度の推進の重点を具体化した事業  
 ①教育活動全体を通じた組織的・系統的なキャリア教育の推進  
 ②兵庫型「体験教育」、「やぶっ子夢プラン」の効果的な推進

3 自己評価結果 (A)目標が達成できた B)目標が概ね達成できた C)目標が余り達成できなかった D)目標が達成できなかった

4 評価項目ごとの評価 (A)目標が達成できた B)目標が概ね達成できた C)目標が余り達成できなかった D)目標が達成できなかった

評価項目	取組内容	達成状況	担当課評価・改善の方策	自己点検・評価委員会による評価	外部評価委員会による評価
1	教育活動全体を通じた組織的・系統的なキャリア教育の推進	○キャリア教育の目標を明確にした全体計画、年間指導計画の作成 ○職業観、勤労観等の育成をめざした「トラライヤる・ウィーク」の実施	○全小中学校で全体計画を作成し、活用している。 ○小中一貫教育推進の観点から取り組んでい る「やぶ・ふるさとキャリア教育」カリキュ ラムの内容を精査するとともに、キャリア ノートとの関連を図る取組を進めることによ り、より実践的な取組とする。 ○生徒の希望に基づきながら地域の事業所と 連携し対象の学年全生徒が参加し実施した。 ○地域行事等への生徒の積極的な参加を促す ための「トラライヤる・アクション」の活動 を工夫する。	○全小中学校で全体計画、年間指導計画を作成し、活用している。 ○小中一貫教育推進の観点から取り組んでい る「やぶ・ふるさとキャリア教育」カリキュ ラムの内容を精査し、キャリアノートとの内 容を関連する取組を進め、より実践 的な取組とする。 ○地域行事等への生徒の積極的な 参加を促すための「トラライヤる・ アクション」の活動を工夫し地域 との繋がりを更に強化していく必 要がある。	○全小中学校で全体計画、年間指導 計画を作成し、活用されている。達 成状況の点検や実践を重視した教育 活動に努めていた。生徒の希 望に沿った活動ができた。よ うな希望を得ていただきた い。 ○「トラライヤる・アクシ ョン」の活動を工夫し地域との 繋がりを強化して いただきたい。
2	兵庫型「体験教育」、「やぶっ子夢プラン」の効果的な推進	○自然学校、環境体験事業等、 体験活動の効果的な実施 ○「山の学校」をはじめとする 「やぶっ子夢プラン」の展開	○発達段階に応じてふるさと意識の醸成等を 図るため、地域の特色を生かした体験活動 を実施することができた。 ○自然学校の学校連合実施を生かした事前・ 事後指導の充実に向けた取組を工夫する(小 小連携の活性化)。 ○環境体験事業やふるさと学習等の校外体験 活動の関連を図り、諸活動の精選に努めると ともに、ふるさと意識のさらなる醸成につな がる内容の工夫を図る。	○発達段階に応じてふるさと意識の醸成等を 図り、地域の特色を生か した体験活動を実施されて いる。「やぶ・ふるさと キャリア教育」の諸活動は ふるさととの再認識と視野 を広げる場となるため、 事業の精選と内容の工夫 を図っていただきたい。	○発達段階に応じてふるさと意識の醸成等を 図り、地域の特色を生か した体験活動を実施されて いる。「やぶ・ふるさと キャリア教育」の諸活動は ふるさととの再認識と視野 を広げる場となるため、 事業の精選と内容の工夫 を図っていただきたい。

# 平成29年度(平成28年度対象) 養父市教育委員会評価調査

## 1 本年の教育推進の重点

推進の重点 2 「生きる力」を育む教育を推進する

2 本年度の推進の重点を具体化した事業

① 9年間の系統性を強化する小中一貫教育の推進

② 一人一人の多様な教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実

【担当課 自己評価】

【教育委員会 評価】

【外部評価委員会 評価】

評価者の別

印

学校教育課

3 自己評価結果 (A目標が達成できた B目標が概ね達成できた C目標が余り達成できなかった D目標が達成できなかった)

4 評価項目ごとの評価 (A目標が達成できた B目標が概ね達成できた C目標が余り達成できなかった D目標が達成できなかった)

評価項目	取組内容	達成状況	担当評価・改善の方策	自己点検・評価委員会による評価	外部評価委員会による評価	達成状況
1 9年間の系統性や連続性を強化する小中一貫教育の推進(先行モデル校区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○取組の意義等について教職員間での共通認識の醸成</li> <li>○「学びのつながり」「地域のつながり」「地域とのつながり」に教職員が協働的に取り組む仕組みづくり</li> <li>○「めざす子ども像」の設定等、取組の具体的な計画に資するグラウンドデザインの設定</li> <li>○先行モデル校区の取組の可視化と情報共有</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市研修所主催の「全教職員研修」等を通じて小中一貫教育推進の意義等について理解の深化を図った。</li> <li>○教職員一人一人が自身の教育活動のねらい等について小中一貫教育の観点から語ることができるよう校内研修を工夫する。</li> <li>○中学校区における小中合同の諸会議や研修会を年間を見通して計画的に実施する。</li> <li>○取組の評価・検証に役立つ評価項目や指標等の設定が必要である。</li> <li>○保護者や地域と連携・協働した取組とするきためにも、取組状況についての各校によるきめ細かな広報を工夫する。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員研修等を通じて小中一貫教育推進の意義についての理解を深め、全教職員がこの教育活動のねらいを語る事ができるよう研修に努めていただきた。また、保護者や地域と連携・協働した取組とするため、きめ細かな広報を工夫していただいた。</li> </ul>	B
2 一人一人の多様な教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「障害者差別解消法」の施行に伴う「合理的配慮」の提供に係る職員対応要領」の策定</li> <li>○保護者との共通理解に基づく適切な教育支援計画の作成</li> <li>○障害の状況に応じた適切な教育課程の編成と指導内容、指導方法の工夫</li> <li>○特別支援学校を核としたネットワークによる適切な支援の工夫と研修の実施</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○策定した「要領」について管理職、特支担当教員等を対象に研修を実施した。</li> <li>○「配慮の具体例」を収集し、対応へのさらなる理解と啓発を図る。</li> <li>○関係機関とも連携を図りながら「計画」を見直し、一人一人の教育的ニーズに応じた支援のさらなる工夫を図る。</li> <li>○自立活動を含めた特別な教育課程を編成する力量を向上させるための研修をさらに積み重ねる。</li> <li>○特別支援学校を核としたネットワークを構築し、計画的、組織的、継続的な取組に資する。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○管理職、特支担当教員等を対象に研修が実施されている。さらなる理解と啓発を図り、一人一人の教育的ニーズに応じた支援の工夫を図っていただきたい。</li> </ul>	A

平成29年度(平成28年度対象) 養父市教育委員会評価調査

【担当課自己評価】  
【教育委員会 評価】  
【外部評価委員会評価】  
 評価者の別  
印  
外部評価委員会評価  
 学校教育課

1 本年度の教育推進の重点

推進の重点 3 子どもたちの学びを支える仕組みを確立する

2 本年度の推進の重点を具体化した事業

①「安心・安全」の確保に向けた環境整備等の推進

②いじめ防止に向けた取組の推進

3 自己評価結果 (A目標が達成できた B目標が概ね達成できた C目標が余り達成できなかつた D目標が達成できなかつた)

4 評価項目ごとの評価 (A目標が達成できた B目標が概ね達成できた C目標が余り達成できなかつた D目標が達成できなかつた)

評価項目	取組内容	達成状況	担当課評価・改善の方策
「安心・安全」の確保に向けた環境整備等の推進	○「通学路交通安全プログラム」に基づく通学路の安全確保 ○「学校防災マニュアル」に基づき地域の災害特性を生かした防災教育の実施 ○スマートフォンやSNS等の利用によるトラップラブル防止に向けた啓発活動の展開	A	市建設課、警察、国交省、県土木等の関係機関と連携し、「交通安全プログラム」を策定するとともに、地域と協働した通学路の安全確保や未整備箇所の点検等を実施した。 ○全ての学校で引渡訓練を含め防災訓練を実施している。また、被災地への支援活動や追悼集会の被災意識が高揚した。 ○全小中学校の児童会、生徒会による「スマホ・サミット」を実施し、「利用に関するルール」を策定するとともに、各中学校区用のポスターを作成・配布し、啓発に活用した。
いじめ防止に向けた取組の推進	○いじめの積極的な認知に向けた取組 ○組織的、機動的な指導体制の構築 ○警察、こども家庭センター、人権・協働課等の関係機関との連携	A	○日常的な観察、定期的なアンケート調査等による「兆候」を見逃さない体制づくりの中で早期発見、早期対応にあたることのできた。 ○「学校いじめ防止基本方針」の見直し等、教職員の対応能力を向上させた。校内研修を実施している。 ○司法書士、警察、人権擁護委員、PTA等を構成メンバーとした「いじめ防止対策連絡協議会」を実施し、市の状況等について情報共有するとともに、取組方策等について協議を図った。

評価項目	取組内容	達成状況	外部評価委員会による評価
自己点検・評価委員会による評価	○行政の関与と連携して「交通安全プログラム」を策定し通学路の安全確保と未整備箇所の点検等を実施している。 ○全ての学校で引渡訓練を含め防災訓練が実施されている。また、被災地への支援活動や追悼集会の実施等を通して、防災意識の高揚を図っている。 ○全小中学校の児童会、生徒会による「スマホ・サミット」を実施し、「ルール」を策定し啓発ポスターを作成・配布した。	A	○行政関係機関と連携し、通学路の安全確保と未整備箇所の点検等が実施されている。 ○全ての学校で引渡訓練を含め防災訓練が実施されている。また、被災地への支援活動や追悼集会の実施等を通して、防災意識の高揚を図っている。 ○全小中学校の児童会、生徒会による「スマホ・サミット」が実施され、「ルール」を策定し啓発ポスターが作成・配布されている。保護者に対する理解と啓発も必要である。
外部評価委員会による評価	○「学校いじめ防止基本方針」の見直しや教職員の対応能力を向上させる校内研修を実施し、いじめの積極的な認知に向けた取組、早期発見、早期対応にあたることのできた。 ○「いじめ防止対策連絡協議会」を実施し、市の状況等について情報共有するとともに、取組方策等について協議を図っている。	A	○学校現場では、いじめの積極的な認知に向けた取組、早期発見、早期対応にあたることのできた。また、「いじめ防止対策連絡協議会」が開催され、市の状況等について情報共有を図り、取組方策等について協議が図られている。

# 平成29年度(平成28年度対象) 養父市教育委員会評価調査

【担当課 自己評価】  
【教育委員会 評価】  
【外部評価委員会評価】

評価者の別  
 学校  
 教育委員会

学校教育課  
 印

## 1 本年年度の教育推進の重点

推進の重点	4 教職員としての専門性と実践的指導力の向上に努める
2 本年年度の推進の重点を具体化した事業	① 研修内容の充実と研修方法の工夫による実践的指導力の向上 ② 業務改善による子供たちとふれあう時間の確保と心通い合う指導

3 自己評価結果 (A 目標が達成できた B 目標が概ね達成できた C 目標が余り達成できなかった D 目標が達成できなかった)

4 評価項目ごとの評価 (A 目標が達成できた B 目標が概ね達成できた C 目標が余り達成できなかった D 目標が達成できなかった)

評価項目	取組内容	達成状況	担当課・評価委員会による評価	外部評価委員会による評価	達成状況	
1	研修内容の充実と研修方法の工夫による実践的指導力の向上 ○小中一貫教育推進の観点からの小中合同の研修会の計画的な実施 ○積極的な授業公開と相互参観、事前・事後の研究協議による授業力向上に向けた取組 ○今日的な教育課題に対応した教職員研修の実施(原事業や市教育研修所事業等)	B	担当課・評価委員会による評価 ○各校においては従来の研修に加えて小中合同の研修にも取り組んでいる。負担感の増につながらないよう、年間を見通した実施回数等の調整が必要である。 ○他校に積極的に授業公開を案内する学校が増え、授業を通じた教員の交流が活性化している。 ○キャリア教育や小中一貫教育、特別支援教育といった研修への積極的な参加を通して、先進的な知見を得ることができた。しかし、時間的な制約もあり、その効果的な伝達研修の実施が課題である。	B	外部評価委員会による評価 ○従来の研修に加えて小中合同の研修にも取り組んでいる。負担感の増につながらないよう、年間を見通した実施回数等の調整を図る必要がある。 ○各種研修会への積極的な参加により先進的な知見を得ることができた。 ○時間的な制約もある中、その効果的な伝達研修の実施が必要である。	B
2	業務改善による子供たちとふれあう時間の確保 ○子供たちと向き合う時間の確保に向けた取組 ○ワーク・ライフ・バランスを含むタイムマネジメント等の意識改革の取組 ○主幹教諭等、ミドルリーダーを活用したOJTの促進と学校経営の推進	B	担当課・評価委員会による評価 ○業務の大胆な見直しを断行する必要がある。 ○小学校での「定時退勤日」が定着が進んでいない。業務改善と意識改革に向けた取組が必要である。 ○若手教員の増加に伴い、引き続き若手を育てる研修の工夫を図る必要がある。	外部評価委員会による評価 ○業務改善と意識改革に向けた取組を進め、教員の勤務時間削減の課題に積極的に取り組んでいただきたい。また、若手教員を育てる研修の工夫を図っていただきたい。	B	





# 平成29年度(平成28年度対象) 養父市教育委員会評価調書

〇	【担当課 自己評価】
〇	【教育委員会 評価】
〇	【外部評価委員会評価】

評価者の別  
 印  
 〇

子ども育成課

1 本年度の教育推進の重点  
 乳幼児教育  
 1 発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育の充実を図る

2 本年度の推進の重点を具体化した事業  
 ① 保健師、臨床心理士、家庭相談員などの相談体制の充実

3 自己評価結果 (A目標が達成できた B目標が概ね達成できた C目標が余り達成できなかった D目標が達成できなかった)

評価項目	取組内容	達成状況	担当課評価・改善の方策
1	子どもへの理解を深め、乳幼児一人一人の特性や発達段階に応じた指導を工夫するとともに、発達に必要な環境の充実に努める。 〇日々の保育を振り返り、個々の課題に応じた関わりを計画的に進める。 〇研修会等に積極的に参加し、専門技術を学び、保育に生かしていく。 研修会：乳児部(0~2歳)・・・10回 幼児部(3~5歳)・・・28回(公開研修10回)	A	・個が応じた指導計画を立て、教育・保育を進めることができた。 ・研修で学んだことを保育に生かすなど、個々に努力が見られ環境の工夫にも努力の跡が見られた。 研修実施回数：乳児部10回、幼児部28回を実施し、予定回数を達成することができた。
2	特別な支援が必要な子どもには、保護者の理解のもとで関係機関と連携を図るなど組織で対応するとともに、個別の指導計画に基づき、個に応じた適切な支援を行う。 〇巡回相談を行い、個別や集団での支援についてアドバイスを行う(巡回相談実施予定30回)。 〇継続した支援が必要な児に対して、サポートアイルを早期に作成するなどして、個に応じた適切な支援を行う。	B	・環境の変化や子どもたちの成長に伴い、子どもたちの困り感や変化は多くなり、個に応じた支援を継続して行えるよう保護者と連携することができた。 ・巡回相談実施回数：42回、サポートアイル作成者：20人 ・今後、支援のアプローチなど工夫し保護者の理解しやすいものになるように努める。

4 評価項目ごとの評価 (A目標が達成できた B目標が概ね達成できた C目標が余り達成できなかった D目標が達成できなかった)

自己点検・評価委員会による評価	達成状況	外部評価委員会による評価	達成状況
〇個別の指導計画を立て、教育・保育を行っている。また、研修で学んだことを保育に生かす工夫と実践が行われている。	A	〇個別の指導計画を立て、発達段階に応じた教育・保育が行われている。研修で学んだことを保育に生かす工夫と実践が行われている。	A
〇個別の指導計画を立て、教育・保育を行っている。また、研修で学んだことを保育に生かす工夫と実践が行われている。	B	〇巡回相談の実施が支援を要する子どもの早期発見となり、個別の支援が行われている。 〇幼児期からのサポートアイルが引き継がれ有効に活用されている。	A

# 平成29年度(平成28年度対象) 養父市教育委員会評価調査

## 1 本年度の教育推進の重点

推進の重点	幼児教育 2 多様な遊び・体験を通して自立と協同の態度を培い「生きる力」の基礎を育む
2 本年度の推進の重点を具体化した事業	
①年齢に応じた指導計画に基づく保育(教育)の推進	
②運動遊びプログラムに基づく体力づくり	

## 3 自己評価結果 (A目標が達成できた B目標が概ね達成できた C目標が余り達成できなかった D目標が達成できなかった)

評価項目	取組内容	達成状況	担当課・評価・改善の方策
1	協同する経験(幼児同士が共通の目的をもち、工夫したり協力したりする経験)を通して、人と人がかわる力やことばの力の育成を図る。		・多様な体験の取り組みへの努力が見られた。 ・感じたこと、考えたことを言葉で伝え合う楽しさを味わわせることが、更に必要である。
2	運動遊びプログラムに基づく体力づくりや園外保育を通して、健康でたくましい心や体を育てる。		・巡回訪問指導138回、親子対象運動遊び講座4回、職員指導7回、体力アップサボーター事業(小5、6年生)4回、市教研1回を実施し目標を達成できた。

## 4 評価項目ごとの評価 (A目標が達成できた B目標が概ね達成できた C目標が余り達成できなかった D目標が達成できなかった)

自己点検・評価委員会による評価	達成状況	外部評価委員会による評価	達成状況
○園児同士の多様な体験(普段の遊び、遊戯、運動遊び、発表会)の取組を通じて協同性や言葉の表現力が養われている。今後子どもたちの積極性や表現力を、協同性を養う取組を継続していく必要がある。	B	○園児同士の多様な体験(普段の遊び、遊戯、運動遊び、発表会)の取組を通じて協同性や言葉の表現力が養われている。今後子どもたちの積極性や表現力を、協同性を養う取組を継続していく必要がある。	A
○運動遊びプログラムに基づく体力づくりや園外保育を通して、健康でたくましい心や体を育てる。今後引き続き運動遊びによる身体発達を促す必要がある。	A	○運動遊びプログラムに基づく体力づくりや園外保育を通して、健康でたくましい心や体を育てる。今後引き続き運動遊びによる身体発達を促す必要がある。	A

【担当課 自己評価】  
 【教育委員会 評価】  
 【外部評価委員会 評価】

評価者の別  
 印

こども育成課

# 平成29年度(平成28年度対象) 養父市教育委員会評価調査

## 1 本年度の教育推進の重点

推進の重点 幼児教育  
3 子どもを安心して育てられる環境づくりを進める

## 2 本年度の推進の重点を具体化した事業

- ① 子育て支援事業の充実
- ② 要保護児童対策地域協議会の設置
- ③ 学童クラブの運営充実

3 自己評価結果 (A目標が達成できた B目標が概ね達成できた C目標が余り達成できなかった D目標が達成できなかった)

担当課自己評価  
 教育委員会評価  
 外部評価委員会評価  
 評価者の別  
 印  
 こども育成課

4 評価項目ごとの評価 (A目標が達成できた B目標が概ね達成できた C目標が余り達成できなかった D目標が達成できなかった)

評価項目	取組内容	達成状況	自己点検・評価委員会による評価	外部評価委員会による評価	達成状況
1	<p>子育て支援事業(子育て相談や保護者交流等)などを活用し、子育てに関する情報を広く子育て家庭に知らせる。</p> <p>○公、私立こども園、子育て支援拠点施設、子育て広場等において、積極的に子育て相談、支援を行った。子育て相談実施回数874回、子育て広場開設延べ回数1,300回。</p> <p>○子育て支援グループ等で構成する「子育て支援ネットワーク会議」の活性化を図り、子育て支援に関する連携の強化、資質の向上を図る。</p> <p>○子育て相談事業の充実を図る。</p>	A	<p>○こども園、子育て支援拠点施設等において、積極的に子育て相談、支援が実施できている。また、県教委委託事業「家庭教育支援モデル事業」を実施し、子育て支援団体の情報交換、資質の向上に努めている。今後も「子育てしやすい養父市」を目指し、子育て相談、支援体制の充実を図る必要がある。</p>	<p>○こども園、子育て支援拠点施設等において、積極的に子育て相談、支援が実施できている。また、県教委委託事業「家庭教育支援モデル事業」を実施し、子育て支援団体の情報交換、資質の向上に努めている。今後も「子育てしやすい養父市」を目指し、子育て相談、支援体制の充実を図る必要がある。</p>	A
2	<p>○家庭相談員等による必要支援家庭(延べ300件)への相談、支援を行う。</p> <p>○そだれん講座 8回を実施し、虐待予防を推進する。</p>	B	<p>○虐待やいじめの早期発見と予防を目的に、子育てに困り感のある保護者等を対象に、怒鳴らない、たたかない子育て練習法「そだれん」の普及を図る。今後もPR方法を工夫し、普及を図っていく必要がある。</p>	<p>○支援の必要な家庭には地域、関係機関と連携を図り、PR方法にも工夫をし、普及を図っていく必要がある。</p>	B
3	<p>○学童クラブにおいて土曜日開設を、夏休み、春休み、冬休みも開設することにより保護者の就業支援に努める。</p>	B	<p>○学童クラブにおいて長期休業期間中の土曜日開設を実施し、保護者の就業支援を図っている。今後も充実した取組を継続していく必要がある。</p>	<p>○全学童クラブにおいて長期休業期間中の土曜日開設を実施し、保護者の就業支援を図っている。今後も充実した取組を継続していく必要がある。</p>	A

# 平成29年度(平成28年度対象) 養父市教育委員会評価調査

【担当課 自己評価】  
 【教育委員会 評価】  
 【外部評価委員会 評価】  
 評価者の別  
 印  
 こども育成課

## 1. 本年度の教育推進の重点

推進の重点	幼児教育
4 本年度の推進の重点を充実させ、子育て支援を進める	教育・保育施設の機能を充実させ、子育て支援を進める
① 一時預かり等保育事業の充実	
② 園評価の実施	

## 3. 自己評価結果 (A目標が達成できた B目標が概ね達成できた C目標が余り達成できなかった D目標が達成できなかった)

評価項目	取組内容	達成状況	担当課評価・改善の方策
1	<p>園・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしながら、子育て家庭の支援を行う。</p> <p>○生後3カ月までの子どもを育てる家庭にヘルパーを派遣し、育児の負担感、不安感の解消を図る(利用予定家庭数 120家庭)。</p> <p>○学童クラブ、こども園、PTA行事の場などにおいて、高齢者が持つ「生きる力」のノウハウや地域文化の伝承等を行う、地域を愛する心の醸成を行う(実施予定回数45回)。</p>	B	<p>子育てヘルパーを派遣することにより、子育ての不安感、負担感を解消を図ることとしたが、派遣希望者の意欲はすがるが実際に利用しない家庭もあり、制度の見直しを行う。</p> <p>・学童クラブ、こども園において、シガ-人材カ-会員による焼き芋、凧、かかしづくりなどの伝承体験を実施した(実施予定45回、実施回数39回)。子どもたちからは好評を得ている。</p>
2	<p>一時預かり保育・延長保育・病後児保育を実施するなど、保育の充実を図る。</p> <p>○保護者の就労等の支援のため、多様な保育を行う。</p> <p>一時預かり保育予定延べ人数500人、延長保育延べ人数5,000人、病後児保育利用延べ人数10人</p>	A	<p>・一時預かり保育利用延べ470人、延長保育利用延べ5,000人、病後児保育利用延べ15人(11/29.1月末現在)。</p>
3	<p>園評価の実施により、保育の質の向上を図り保護者との信頼関係を築くとともに開かれた園運営に努める。</p> <p>○公立全園において、園評価を実施する。</p> <p>・園長、保育教諭、調理師において自己評価を実施する。</p> <p>○園外部評価として、保護者アンケートの実施と公表。</p>	A	<p>・評価委員会を立ち上げ、教育・保育の資質向上に向け、園評価に取り組むことができた。</p> <p>・保護者の協力を得てアンケートを実施し、各園の改善点を公表することできた。</p> <p>※回答率97%</p>

## 4. 評価項目ごとの評価 (A目標が達成できた B目標が概ね達成できた C目標が余り達成できなかった D目標が達成できなかった)

自己点検・評価委員会による評価	達成状況	外部評価委員会による評価	達成状況
<p>○子育てヘルパーの派遣希望者登録はあったが、実際の利用者は少なく、制度の見直し並びに周知方法の工夫が必要がある。</p> <p>○学童クラブ、こども園でのシガ-人材カ-会員による様々な伝承体験は好評であり、今後も継続していく必要がある。</p>	B	<p>○子育てヘルパーの派遣希望者登録はあったが、実際の利用者は少なく、制度の見直し並びに周知方法を工夫する必要がある。</p> <p>○学童クラブ、こども園でのシガ-人材カ-会員による様々な伝承体験は好評であり、今後も継続していく必要がある。</p>	B
<p>○一時預かり保育・延長保育・病後児保育を実施し、多様な保育の充実を図られている。</p>	A	<p>○一時預かり保育・延長保育・病後児保育を実施し、多様な保育の充実を図られている。余裕のある職員体制で進めている必要がある。</p>	A
<p>○園評価を実施し、保育の質の向上と保護者との信頼関係構築に努めている。今後開かれた園運営に努めていく必要がある。</p>	A	<p>○園評価を実施し、保育の質の向上と保護者との信頼関係構築に努めている。今後開かれた園運営に努めていく必要がある。</p>	A

# 平成29年度(平成28年度対象) 養父市教育委員会評価調書

1 本年の教育推進の重点

社会教育  
推進の重点 1 家庭・地域・学校が連携して、豊かな心を育む青少年の健全育成を進める

2 本年の推進の重点を具体化した事業

●放課後子ども教室の開設

3 自己評価結果 (A 目標が達成できた B 目標が概ね達成できた C 目標が余り達成できなかった D 目標が達成できなかった)

社会教育課 ○印

評価者の別

○ 担当課自己評価

○ 教育委員会評価

○ 外部評価委員会評価

4 評価項目ごとの評価 (A 目標が達成できた B 目標が概ね達成できた C 目標が余り達成できなかった D 目標が達成できなかった)

評価項目	取組内容	達成状況	担当課評価・改善の方策	自己点検・評価委員会による評価	外部評価委員会による評価	達成状況	
1	<p>社会教育行政の充実や生涯学習の推進に努めます。</p> <p>※生涯学習の拠点施設である公民館・ホール・読書活動等の事業は市民生活部八幡公民館や養父・大屋・関宮地域局で実施されており連携して進めます。</p>	<p>①社会教育委員会の開催 市委員会を年2回開催し、但馬地区、近畿地区の研修会等に参加する。</p> <p>②記念館の管理運営 山田風太郎記念館と上垣守國養蚕記念館、大庄屋記念館はシルバークリニックに管理運営する。</p> <p>③平成29年養父市成人式を開催する。新成人による成人式実行委員会が企画・運営に参画する。</p>	B	<p>①委員会で大庄屋記念館を訪問し、社会教育施設の現状を視察した。</p> <p>②山田風太郎記念館では講演会、上垣守國養蚕記念館では公民館ワークショップを開催した。</p> <p>③大庄屋記念館では市内8小学校(3年生)の団体見学を受け入れた。</p> <p>④新成人が司会を務め、新成人236人が出席した。養父太鼓「色彩」の力強い演奏によりお祝いをした。</p>	A	<p>○社会教育委員会の開催、その他の研修会等に積極的に参加されている。</p> <p>○記念館は指定管理等により運営されている。引き続き利用者増に向けた工夫を凝らしてほしい。</p> <p>○市成人式も、新成人による成人式実行委員会を立ち上げ企画・運営されていることは評価する。</p>	A
2	<p>家庭・地域・学校の連携のもと、青少年が健全に育つ環境づくりに進め、ふるさとへの愛着を育てます。</p>	<p>①チャレンジキッズ等との連携 公民館事業「チャレンジキッズ」、市社会福祉協議会事業「放課後プレーパーク」(子どもも冒険ひろば事業)と連携し、子どもたちに体験活動を提供する。</p>	B	<p>①市4公民館や市社会福祉協議会と連携し、子どもたちに体験学習や活動の場を提供した。放課後プレーパークを1小学校区で実施した。</p>	B	<p>○公民館や市社会福祉協議会と連携し、子どもたちの体験活動により、ふるさとへの愛着を育てる事業を積極的に推進していただきたい。</p>	B
3	<p>地域のボランティアなどの参加を得て、地域全体で学校支援、子どもの居場所確保に努め、地域の教育力を高めよう。</p>	<p>①学校支援地域本部事業の推進 小・中学校が実施する学校支援事業の内容をとりまとめ、各小・中学校へ情報提供する。</p> <p>②放課後子ども教室の開設 放課後や休日に体験活動を提供するため、自治協議会、小学校などを会場に実施する。</p>	B	<p>①各学校で、地域ボランティアの協力を得ながら事業が行われている。</p> <p>②兵庫県の支援をうけて、放課後子ども教室を市内8小学校区に開設した。</p>	B	<p>○少子化の中で子どもたちに、放課後や休日に学びの体験、遊びの体験を提供する事業を積極的に推進していただきたい。</p>	B
4	<p>PTAや子ども会活動等を支援し、子ども同士や親子、地域の交流を図ります。</p> <p>生涯スポーツ活動を支援し、学校施設を一般の利用のために提供します。</p>	<p>①養父市PTA連絡協議会の活動支援 8月28日(日)、PTCA活動研修会・地域フォーラムを開催する。</p> <p>②養父市子ども会育成連絡協議会の活動支援 11月6日(日)、第13回子ども会ドッジボール大会を開催する。</p> <p>③市内の小・中学校、小学校の運動場や体育館を青少年や一般の団体利用に提供した。</p>	B	<p>○PTA活動、子ども会活動等を支援し、子ども同士や親子、地域の交流を図っている。</p> <p>○体育館や運動場などの学校施設を無料で貸し出し、スポーツ活動を支援している。多くの市民が利用しており、効果は高く継続が必要がある。</p>	B	<p>○PTA活動、子ども会活動等の支援、子ども同士や親子、地域の交流を図られている。</p> <p>○体育館や運動場などの学校施設を開放し、市民のスポーツ活動が支援されている。</p>	B

# 平成29年度(平成28年度対象) 養父市教育委員会評価調書

【担当課自己評価】  
 【教育委員会評価】  
 【外部評価委員会評価】

評価者の別  
 印

社会教育課

## 1 本年度の教育推進の重点

- 推進の重点  
 2 ふるさとの文化財を継承し、その保存と活用を進める
- 2 本年度の推進の重点を具体化した事業
- 名草神社の修理事業の推進

## 3 自己評価結果 (A目標が達成できた B目標が概ね達成できた C目標が余り達成できなかった)

評価項目	取組内容	達成状況	担当課評価・改善の方策
1	市内にある文化財の調査・保護を進めます。文化財の魅力を発信します。埋蔵文化財の発掘調査を進めます。	A	①文化財保護審議会を開催する。 ②養父市のホームページで文化財記事を発信し、文化財関係のパンフレットを製作する。 ③開発工事に伴って埋蔵文化財に関する行政指導や調査を実施する。
2	伝統芸能や伝統文化の保存団体、および文化財の保護団体の活動を支援します。市内にある国・県・市の指定文化財等の保存・修復に努めます。	A	①大杉さんざこ語り保存会など文化財関係14団体の活動を支援した。また青箱書院のモミの樹勢回復事業を支援した。 ②県登録文化財養父神社(3年目)、国指定文化財名草神社(2年目)の修理を指導・支援した。 ③八木城跡殿屋敷地区の整備事業(2年目)を実施した。
3	養父市が所有する文化財保存・管理する。	B	①国指定文化財では樽見の大ザクラ、大ザクラの樹勢回復事業を進め、箕谷古墳群や八木城跡の草刈り等の管理を実施した。県指定文化財では堀草刈り等が山古墳群を草刈り等の管理をした。鹿や猪の獣害防止対策に努めている。

## 4 評価項目ごとの評価 (A目標が達成できた B目標が概ね達成できた C目標が余り達成できなかった D目標が達成できなかった)

自己点検・評価委員会による評価	達成状況	外部評価委員会による評価	達成状況
養父市のホームページで文化財記事を発信すると共に、文化財関係のパンフレットを製作し、文化財の紹介に努めている。今後も養父市の歴史と文化財の魅力を発信していく必要がある。	A	市のホームページでの文化財記事を発信、文化財関係のパンフレットを製作するなど、今後も養父市の歴史と文化財の魅力を発信していただきたい。	A
伝統芸能や伝統文化の保存団体および文化財の保護団体の活動を支援している。市民団体を支援し、伝統文化の伝承を一層進めたい。	A	伝統芸能の保存団体、及び文化財の保護団体の活動を支援されている。担い手不足が懸念される中で、今後とも市民団体への支援を継続していただきたい。また、文化財等の保存・修復を推進し、ふるさと養父市の宝の継承を進めたい。に、地域振興にも繋げていただきたい。	A
国指定文化財では樽見の大ザクラの樹勢回復事業や八木城跡の維持管理、県指定文化財では堀草刈り等が山古墳群を維持管理している。歴史公園として市民が身近に親しめるよううにしたい。	B	国指定文化財等市民が身近に親しめるよう管理に努めていただきたい。	B

# 平成29年度(平成28年度対象) 養父市教育委員会許面調査

1 本年次の教育推進の重点

推進の重点 「元氣な養父市〜ひとり1スポーツで健康づくり〜」を進める

2 本年次の推進の重点を具体化した事業

- 年間を通じたスポーツイベントや教室などの開催及び地域でのスポーツ活動推進への支援
- 生涯スポーツ・健康づくりの推進
- 施設の適正管理と安全対策

3 自己評価結果 (A目標が達成できた B目標が概ね達成できた C目標が達成できなかった D目標が達成できなかった)

評価項目	取組内容	達成状況	担当課評価・改善の方策	
1	<p>スポーツがもたらす健康や生きがい、交流づくり等への効果を再認識し、特に成人が週1回以上スポーツ活動に親しむ機会をもつなど、子供から高齢者まで生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現に取り組みます。</p> <p>■ 年間を通じたスポーツイベントや教室などの開催及び地域でのスポーツ活動推進への支援</p> <p>1) 第6回養父市ウォークラリー大会 開催日 平成28年5月29日(日) 場所 関宮地域(関宮地域局周辺) 参加者 75人</p> <p>2) 第7回養父市スポーツフェスティバル 開催日 平成28年7月18日～8月20日 場所 つるぎが丘公園 他市内体育施設 種目 ソフトボール他 全12種目 参加者 835人</p> <p>3) 第25回養父市イヌワシ駅伝大会 開催日 平成28年9月22日(秋分の日) 場所 関宮小・中学校周辺農道コース 部門 一般男女、高校女子、中学男女、小学男女 参加者 143チーム(709人)</p> <p>4) 第10回やぶらぶらマラソン(養父市ロードレース) 開催日 平成28年10月10日(体育の日) 場所 全天候運動場～小佐方面 部門 ハーマラソン他 全19部門 参加者 524人</p> <p>■ 全天候運動場主催事業</p> <p>1) スポーツ教室 種目 ジェン7陸上7カ所他 全4教室 受講生 147人</p> <p>2) スポーツ大会 種目 ケガボ・J・J、7カ所 全5回 参加者 1,043人</p> <p>■ 生涯スポーツ・健康づくりの推進</p> <p>1) 体力測定会 自分の体力年齢を知り、運動を始めるきっかけづくりとなり、体力にあった運動メニューが分かり実践ができる。 〔9自治協議会・3企業〕参加者 362名</p> <p>2) 『ノルディックウォーク講習会』 初級講座を開催し、講義や実技指導を行い気軽にできる健康づくり活動として行う。 開催日 平成28年11月12日 場所 養父市立全天候運動場 参加者 31名</p>	<p>■ スポーツイベントの開催</p> <p>1) グループでウォーキングをしながらまち探検を行う競技で、スポーツ推進委員が主体となり実施している。</p> <p>■ 生涯スポーツ・健康づくりの推進</p> <p>2) 小学生から高齢者まで幅広い年齢層による夏のスポーツイベントとして、市民に定着している。種目協会に所属していない一般参加者を対象とする種目の造成が課題。</p> <p>3) 過去最多のチーム数を迎え開催した。参加者増により、スタート地点及び中継点の混雑解消と事故防止の為に改善に取り組む。</p> <p>4) 開催日を体育の日に戻し、ゲストラナーに千葉真子氏を迎えたことで参加者が去年から約1.5倍増となった。来年度は早い時期から募集を行い、参加者増を図る。</p> <p>■ 全天候運動場主催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二一歳の高いスポーツ教室を4事業開催した。子どもから中高年者までの健康づくりを直接的に指導助言し推進している。</li> <li>・生きがい創造事業を一年を通じて展開した。</li> <li>・主催事業を通して当該施設の利用促進を図った。</li> </ul> <p>■ 生涯スポーツ・健康づくりの推進</p> <p>1) 各自治協に体力測定会実施を呼びかけた。出張型、3企業から実施の依頼を受けた。出張型の体力測定会は気軽に参加できるとして好評である。</p> <p>2) 今年度も健康課と連携し、講師を招き講習会を行った。</p> <p>ウォーキングよりも負荷あり健康増進の効果がある。愛好者も増加傾向にある。団体にはボールの貸し出しもを行い、試行を行いながら推進を図った。</p>	B	<p>外部評価委員会による評価</p> <p>○様々なスポーツイベント、スポーツ教室を通じて、子どもから成人までライフステージに応じたスポーツ活動に親しむ機会提供に努められている。今後も、子供から高齢者まで生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現に向けて、市のスポーツ施設を有効利用し、各種スポーツ団体、自治協議会等と連携を図りながら取り組んでいただきたい。</p>
		<p>自己点検・評価委員会による評価</p> <p>○様々なスポーツイベント、スポーツ教室を通じて、子どもから成人までライフステージに応じたスポーツ活動に親しむ機会提供に努められている。今後も、子供から高齢者まで生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現に向けて、市のスポーツ施設を有効利用し、各種スポーツ団体、自治協議会等と連携を図りながら取り組む必要がある。</p>	B	
		<p>外部評価委員会による評価</p> <p>○様々なスポーツイベント、スポーツ教室を通じて、子どもから成人までライフステージに応じたスポーツ活動に親しむ機会提供に努められている。今後も、子供から高齢者まで生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現に向けて、市のスポーツ施設を有効利用し、各種スポーツ団体、自治協議会等と連携を図りながら取り組んでいただきたい。</p>	A	

【担当課 自己評価】  
 【教育委員会 評価】  
 【外部評価委員会 評価】

評価者の別  
○印

生涯スポーツセンター

4 評価項目ごとの評価 (A目標が達成できた B目標が概ね達成できた C目標が達成できなかった D目標が達成できなかった)

評価項目	自己点検・評価委員会による評価	外部評価委員会による評価	達成状況
	<p>○様々なスポーツイベント、スポーツ教室を通じて、子どもから成人までライフステージに応じたスポーツ活動に親しむ機会提供に努められている。今後も、子供から高齢者まで生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現に向けて、市のスポーツ施設を有効利用し、各種スポーツ団体、自治協議会等と連携を図りながら取り組む必要がある。</p>	<p>○様々なスポーツイベント、スポーツ教室を通じて、子どもから成人までライフステージに応じたスポーツ活動に親しむ機会提供に努められている。今後も、子供から高齢者まで生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現に向けて、市のスポーツ施設を有効利用し、各種スポーツ団体、自治協議会等と連携を図りながら取り組んでいただきたい。</p>	B
	<p>○様々なスポーツイベント、スポーツ教室を通じて、子どもから成人までライフステージに応じたスポーツ活動に親しむ機会提供に努められている。今後も、子供から高齢者まで生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現に向けて、市のスポーツ施設を有効利用し、各種スポーツ団体、自治協議会等と連携を図りながら取り組んでいただきたい。</p>	<p>○様々なスポーツイベント、スポーツ教室を通じて、子どもから成人までライフステージに応じたスポーツ活動に親しむ機会提供に努められている。今後も、子供から高齢者まで生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現に向けて、市のスポーツ施設を有効利用し、各種スポーツ団体、自治協議会等と連携を図りながら取り組んでいただきたい。</p>	A



# 平成29年度(平成28年度対象) 養父市教育委員会評価面調査

1 本年度の教育推進の重点

推進の重点 「元気な養父市〜ひとりスポーツで健康づくり〜」を進める

2 本年度の推進の重点を具体化した事業

- 年間を通じたスポーツイベントや教室などの開催及び地域でのスポーツ活動推進への支援
- 生涯スポーツ・健康づくりの推進
- 施設の適正管理と安全対策

3 自己評価結果 (A目標が達成できた B目標が概ね達成できた C目標が余り達成できなかった)

評価項目	取組内容	達成状況	担当課評価・改善の方策
1 体育協会やスポーツクラブ21等のスポーツ団体の活動を支援し、スポーツ人口の拡大やスポーツ活動の振興に努めます。	<p>■スポーツ団体への活動支援</p> <p>1) 養父市体育協会 養父市体育協会(全16種目、約1,000人)の活動への補助と事業連携により会の活性化を支援する。</p> <p>2) スポーツクラブ21 市内小学校区に設置された全18クラブの基金管理や交流活動への支援により、スポーツクラブ21の適正な運営を継続させる。</p>	B	<p>■スポーツ団体への活動支援</p> <p>1) 体育協会事務局として、加盟団体の活動への支援を行うとともに、連携した事業推進に努めた。協会からは市が主催する行事へスタッフ協力をいただいた。</p> <p>2) 市連絡協議会主催によるグラウンド・ゴルフ大会を開催し、市内スポーツクラブの交流を図ることができた。</p> <p>クラブアドバイザー派遣事業を利用して協議会を開催した。各スポーツクラブ21の現状と課題を確認し、今後の適正な運営を支援する。</p> <p>■スポーツ顕彰制度</p> <p>1) 本年度は該当なし</p> <p>2) 市体協、SC21市連協それぞれから会独自の顕彰制度制定の動きがあり、市のスポーツ賞との整合性等を調整したい。</p> <p>■子どもスポーツ安全保険補助金</p> <p>・昨年度は約400人の助成を行った。高水準の補償制度に加入出来ることから、関係者等から好評を得ている。今後も継続する。</p>
2 市民や地域との連携・協働によるスポーツ活動の振興を図るとともに、保健・医療や生涯学習等の行政関係機関との積極的な連携により、スポーツ振興策を効果的に展開します。	<p>■スポーツ顕彰制度</p> <p>養父市スポーツ賞 養父市のスポーツ振興に功績のあった者(団体)及び優秀な成績を取った者(団体)に対する表彰を行う。</p> <p>■子どもスポーツ安全保険補助金</p> <p>・保護者、指導者、子供達が安全で安心してスポーツ活動に取り組めるよう、スポーツ保険の加入促進を図る。</p> <p>対象 市内小学生 内容 1人当たり1,450円/年額を助成 実績 216人(1月末時点)</p>	B	<p>○各種スポーツ団体や地域との協働により、様々なスポーツイベント、子どもかススポーツ活動が実施され、子どもかススポーツ活動に親しむ機会提供に努めている。今後も、各種スポーツ団体、自治協議会等と連携を図りながら取り組みを進め、特に健康意識の高まりを受け、健康・医療関係の行政機関との連携、スポーツを通じた観光産業との連携を図る必要がある。</p>
3 市民や地域との連携・協働によるスポーツ活動の振興を図るとともに、保健・医療や生涯学習等の行政関係機関との積極的な連携により、スポーツ振興策を効果的に展開します。	<p>■健康・スポーツ活動の推進体制の整備</p> <p>1) 養父市スポーツ振興協議会等の開催 生涯スポーツの普及と、市民の健康増進による元気な地域社会を目指し、市民の協働で推進するために設置する。</p> <p>2) 関係機関との事業連携 市内スポーツ団体関係や自治協、市健康課等との連携事業として、体力測定会などの健康づくりの普及、推進事業を展開する。</p> <p>3) 関西フットボールフェスティバル(2021年) 養父市(ハチ高原)で開催されるに伴い地元やスポーツ施設等にポスター掲示などの周知を行う。</p>	B	<p>○各種スポーツ団体や地域との協働により、様々なスポーツイベント、子どもかススポーツ活動が実施されている。今後も、各種スポーツ団体、自治協議会等と連携を図りながら取り組んでいきたい。また、健康・医療関係の行政機関との連携、関西フットボールフェスティバルの開催を進め、スポーツを通じた観光産業との連携を図っていただきたい。</p>

4 評価項目ごとの評価 (A目標が達成できた B目標が概ね達成できた C目標が余り達成できなかった)

自己点検・評価委員会による評価	外部評価委員会による評価	達成状況
<p>○体育協会やスポーツクラブ21等のスポーツ団体の活動を支援し、スポーツ人口の拡大やスポーツ活動の振興に努めている。今後も引き続き各種スポーツ団体の活動を支援していく必要がある。</p>	<p>○体育協会やスポーツクラブ21等のスポーツ団体の活動を支援し、スポーツ人口の拡大やスポーツ活動の振興に努めている。今後も引き続き各種スポーツ団体の活動を支援していただきたい。</p>	B
<p>○各種スポーツ団体や地域との協働により、様々なスポーツイベント、子どもかススポーツ活動が実施されている。今後も、各種スポーツ団体、自治協議会等と連携を図りながら取り組んでいきたい。また、健康・医療関係の行政機関との連携、関西フットボールフェスティバルの開催を進め、スポーツを通じた観光産業との連携を図っていただきたい。</p>	<p>○各種スポーツ団体や地域との協働により、様々なスポーツイベント、子どもかススポーツ活動が実施されている。今後も、各種スポーツ団体、自治協議会等と連携を図りながら取り組んでいきたい。また、健康・医療関係の行政機関との連携、関西フットボールフェスティバルの開催を進め、スポーツを通じた観光産業との連携を図っていただきたい。</p>	B

評価者の別  
 担当課自己評価  
 教育委員会評価  
 外部評価委員会評価

生涯スポーツセンター

# 平成29年度(平成28年度対象) 養父市教育委員会許面調査

1 本年度の教育推進の重点

推進の重点 「元気な養父市〜ひとりスポーツで健康づくり〜」を進める

2 本年度の推進の重点を具体化した事業

- 年間を通したスポーツイベントや教室などの開催及び地域でのスポーツ活動推進への支援
- 生涯スポーツ・健康づくりの推進
- 施設の適正管理と安全対策

3 自己評価結果 (A目標が達成できた C目標が概ね達成できた D目標が達成できなかった)

評価項目	取組内容	達成状況	担当課評価・改善の方策	自己点検・評価委員会による評価	外部評価委員会による評価	達成状況
4 市民が生涯にわたってそれぞれが年齢や体力、目的などに応じて、いつでも、どこでも、誰でも気軽にスポーツを楽しむことができる環境づくりに努めます。	<p>■スポーツ施設の維持管理と運営</p> <p>1) 指定管理施設の管理運営 指定管理施設が効果的・効率的に市民に活用されるよう、モニタリングや運営協議会を定期的に行うとともに、必要な改修を行う施設の適正管理に努める。</p> <p>① おおやB&amp;C海洋センター等施設 管理者 代表 全但バス協 期 間 平成28～32年度(3期目5年間) 概 要 自主事業や積極的なPR活動により、地域に密着した施設の管理運営に努める。</p> <p>② 養父市都市公園(つるぎが丘公園)施設 管理者 代表 全但バス協 期 間 平成26～28年度(3年間) 概 要 温水プール、健康増進施設等を利用する市民の健康づくり活動への支援と、公園内体育施設の維持管理に努める。</p> <p>2) 全天候運動場施設の管理運営 概 要 天候に左右されない運動施設としての特性を活かし、年間を通じて安全・安心にスポーツ・交流活動ができるよう、適切な施設維持と管理運営に努める。</p>	B	<p>■スポーツ施設の維持管理と運営</p> <p>1) 募集時の要項や協定書に基づき、適正な施設管理や運営が図られているか、利用者アンケート結果などのモニタリングや管理指導に努めた。</p> <p>①第3期目として、引き続き地域密着型のスポーツ施設として積極的に事業を展開している。 また、B&amp;C修繕助成を受け、体育館照明のLED化、男女トイレの洋式化、温水シャワーを設置し、市民が快適に施設利用出来るよう修繕工事を行った。</p> <p>②指定管理3年目の運営を行った。 目標達成に向けて、自主事業を増やすなど各施設利用者の増加を図るとともに、施設の維持管理に努めた。 ・プール、健康支援施設は利用者が増加傾向にあり、設置目的を十分発揮していると評価する。景観維持管理面については指導を行う</p> <p>2) 全天候運動場施設の管理運営 ・常に快適な状態で利用できるよう、施設の補修や管内清掃、外部の環境整備に努めた。 ・アーリーナ面(グラウンド面)については、不陸修正作業を行い、安全な利用提供に努めた。</p>	<p>自己点検・評価委員会による評価</p> <p>○市民が、いつでも、どこでも、誰でも気軽にスポーツを楽しむことができる環境づくりに努めている。今後も安心して利用できる施設の維持管理が必要がある。</p>	<p>外部評価委員会による評価</p> <p>○市民誰もが気軽にスポーツを楽しむことができるとともに、環境づくりに努められている。今後も安心して利用できる施設の維持管理に努めていただきたい。</p>	B
4 評価項目ごとの評価 (A目標が達成できた B目標が概ね達成できた C目標が残り達成できなかった)				<p>自己点検・評価委員会による評価</p> <p>○市民誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる環境づくりに努めている。今後も安心して利用できる施設の維持管理が必要がある。</p>	<p>外部評価委員会による評価</p> <p>○市民誰もが気軽にスポーツを楽しむことができるとともに、環境づくりに努められている。今後も安心して利用できる施設の維持管理に努めていただきたい。</p>	B

評価者の別

○印

【担当課自己評価】

○

【教育委員会評価】

○

【外部評価委員会評価】